令和6年度重点目標の評価

令和6年度 重点目標	必要な情報が必要な人へ届けられるよう、情報の発信方法や提供方法の見直しを行います。
取組内容	・利用者のニーズに合わせ、Instagramを活用した情報発信をおこないます。 ・外国につながる方や地域の方にも活用してもらえるHPとなるよう、リニューアルを検討します。 ・情報サロンのレイアウト変更を含め、拠点内での情報提供方法を見直します。 ・「横浜市地域子育て支援拠点サイト」を活用した、効果的な情報発信方法を検討します。
取組の成果	・ポポラ、ポポラサテライトそれぞれでInstagramを開設。拠点に来たことのない方にも拠点の事業やイベント情報がわかるように情報を発信することで、拠点の利用につなげました。 ・外国につながる方が英語を母語とする方だけではないことも考慮し、誰にとっても簡潔でわかりやすい情報提供ができるよう「やさしい日本語」の活用を含めたHPのリニューアルの検討を進めています。 ・情報サロンのレイアウトを変更し、ひろばを利用しない方、ひろばを利用中の方、両方の利用者が情報を見やすくなるよう、チラシ等の配架場所を変更しました。また、情報サロン内に、大人のみでも情報をゆっくりと見たり、スタッフに相談などができるコミュニティスペースを設置しました。 ・「横浜市地域子育て支援拠点サイト」と連携している「横浜市子育て応援サイト（パマトコ）」が、妊娠期から登録される方が多いことを利用し、妊娠期向けイベント等の情報発信に利用しています。
取組の課題	・HPのリニューアルについて、外国につながる方への情報提供方法として、デジタルデバイスの翻訳機能の利用も踏まえ、翻訳しやすい文言での情報提供を検討する必要があると感じますが、日本人にとってわかりやすい文章と、外国語に正確に翻訳されるための文章には相違があるため、誰に対して発信したい情報なのかを精査し、適切に情報を発信することが課題だと感じています。 ・「横浜市子育て応援サイト（パマトコ）」をより活用したいと思っていますが、システム登録の手順などが業務フローと合わない部分もあり、業務フローの見直しも含めて活用を再検討する必要があると感じています。

令和6年度 重点目標	引き続き、都筑のまちで安心して自分らしく子育てができるよう、多様な価値観をもつ人々や多世代の人との出会いの場や機会の創出をおこないます。
取組内容	・地域ケアプラザ等と共に、多世代交流の機会提供をおこないます。 ・引き続き、Tsuzuki International Friendship（TIF）等、他団体と連携し日常では接点を持ちにくい多様な人々をつなぐ機会をつくります。 ・多様な価値観を学べる場の提供をおこないます。
取組の成果	・地域の中での“顔の見える関係づくり”や、あらゆる世代が緩やかに地域の中で支えあうまちづくりを目的として、プレパパを対象とした男性育休講座を地域ケアプラザと連携して開催し、妊娠期から地域と繋がる機会を提供しました。 ・昨年に引き続き、より豊かな多文化共生のまちづくりを目指すことを目的とし、つづきMYプラザ、Sharing Caring Culture、ポポラの3者事業連携（TIF）をおこないました。第2回DE&Iフェスティバル開催や「やさしい日本語」の普及・啓発活動などを通して、外国につながりのある方、年齢、国籍、障がいのあるなしに関係なく、多様な人が出会いつながれる場をもつことができました。また、イベント開催をきっかけに区内の中学、高等学校や商店街連合会、青少年指導員連絡協議会、障害者事業所ネットワーク、企業等との連携・関係構築や、都筑区役所の複数の課との連携をとることもできました。 ・横浜市包括連携協定の一環として、東急不動産、都筑区役所、ポポラの3者主催で映画上映「ゆめパのじかん」と西野博之氏講演会を開催しました。子育て支援をしている人だけではなく、学生や親子などが参加し、多様な世代が集まる中で「居場所の大切さ」や「地域の中でみなで子どもを見守ることの必要さ」などを学ぶ機会となりました。
取組の課題	・地域や対象者が絞られる中で、把握が困難な妊娠期の方への周知の方法に課題があります。 ・他団体や企業との連携をさらに広め、日々の暮らしの中で接点を持ちにくい人々や参加団体同士がかかわる機会をさらに作っていくことが必要です。また、DE&Iの理念を引き続き広めていくことも必要だと考えます。 ・日常の中に混在している多様な価値観を知り、学ぶ場が更に必要だと考えます。